

議会評価意見書

事業名	5-2-16 住宅新築資金等貸付事業	
議会評価	3	改善・効率化し継続
<p>【評価説明】</p> <p>平成8年度で終了したこの貸付事業は、その後毎年の償還業務にて苦慮している。滞納者に向けての督促状の送付、電話催告、訪問徴収、納付相談と繰り返す中で、現年度の徴収率が前年度を上回ったこと、また、滞納者を出さない対策についても随時対応してきたことについては一定の評価ができる。収納マニュアルを作成し、その徴収強化を図り、具体的な数値目標を立て、事務執行している体制も、より徹底した強化策がないか、今後も引き続き考えていかなければならない。</p> <p>議会においても、昨年制度見直しが必要と意見書を関係官庁へ提出し、その対応を国に求めたところであり、行政二次評価にもあるように、中・長期的に同様の問題を抱える自治体と課題解決に向けた共通な事項を設け、国に対して強く改正を求めていくべきものである。</p>		